

商事務官ニ、農林理事官ハ農商理事官
ニ、農林省統計官ハ農商省統計官ニ、農
林省小作官ハ農商省小作官ニ、農林技師
ハ農商技師ニ、農林屬ハ農商屬ニ、農林
省統計官補ハ農商省統計官補ニ、農林省
小作官補ハ農商省小作官補ニ、農林技手
ハ農商技手ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレ
タルモノトス

本令施行ノ際現ニ農林省ノ職員ニシテ休
職中ノモノ別ニ辭令ヲ發セラザルトキ
ハ休職ノ儘前項ノ例ニ依リ農商省ノ職員
ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノト
ス

運 輸 通 信 省 官 制

(參 照 添 附)

昭和十八年十一月十一日 法
昭和十八年十一月一日 公
勅令第八百二十九號

勅令第

號

運輸通信省官制

第一條 運輸通信大臣ハ陸運（自動車製造事業ヲ除ク）、水運・港灣・倉庫營業、航空（航空機製造事業ヲ除ク）及氣象ニ關スル事務ヲ管理ス

運輸通信大臣ハ通信院ヲ管理ス
第二條 大臣官房ニ於テハ通則ニ據グルモノノ外所管行政ノ考査一般所管防衛業務ノ總括及氣象（海運總局ノ主管ニ關スルモノヲ除ク）ニ關スル事務ヲ掌ル

第三條 運輸通信省ニ左ノ二總局及四局ヲ置ク

企畫局

鐵道總局

海運總局

自動車局

港灣局
航空局

鐵道總局ニ長官官房並ニ總務局、業務局、施設局及資材局ヲ置ク
海運總局ニ長官官房並ニ總務局、海運局、船舶局及船員局ヲ置ク
自動車局ニ運輸通信大臣ノ定ムル所ニ依リ部又ハ部及課ヲ置クコトヲ

得
航空局ニ監理部及乘員部ヲ置ク其ノ分掌事務ハ運輸通信大臣之ヲ定ム

第四條

企畫局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一 運輸ニ關スル綜合計畫ノ設定其ノ他重要政策ノ綜合調整ニ關スル

事項
二 内地ニ於ケル運輸ト内地以外ノ地域ニ於ケル運輸トノ連絡ニ關スル事項

第五條

鐵道總局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一 國有鐵道及其ノ附帶事業ニ關スル事項

二 國有鐵道ニ關聯スル國營船舶ノ業務ニ關スル事項

三 地方鐵道、專用鐵道及軌道ニ關スル事項

四 國有鐵道其ノ他ノ陸運及國有鐵道ニ關聯スル國營船舶ノ要員ニ關スル事項

五 帝國鐵道會計ノ經營及諸收入ノ豫算、決算並ニ會計及其ノ監査ニ關スル事項

六 帝國鐵道會計ノ國有財産及物品並ニ所要電力ニ關スル事項

七 鐵道及軌道ノ用ニ供スル車輛其ノ他ノ機械器具ニ關スル事項

八 倉庫營業ハ臨港倉庫ニ係ルモノヲ除クニ關スル事項

第六條 海運總局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 船舶、造船、船員、航路標識其ノ他ノ水運ニ關スル事項

二 港灣ノ運營ニ關スル事項

三 航路標識附屬ノ設備ニ依ル氣象觀測ニ關スル事項

四 臨港倉庫ニ係ル倉庫營業ニ關スル事項

第七條 自動車局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 國有鐵道ニ關聯スル國營自動車及其ノ附帶事業ニ關スル事項
- 二 自動車交通事業、小運送業其ノ他ノ陸運（鐵道及軌道ヲ除ク）ノ事業ニ關スル事項
- 三 自動車其ノ他ノ陸運（鐵道及軌道ヲ除ク）ノ用ニ供スル機械器具ニ關スル事項

第八條 港灣局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 港灣ノ建設、保存及管理ニ關スル事項
- 二 港灣内ノ公有水面ニ關スル事項

第九條 航空局ニ於テハ航空ニ關スル事務ヲ掌ル

第十條 運輸通信省ニ海運總局參與千五人以内ヲ置キ海運總局ノ局長ニ參與セシム

海運總局參與ハ運輸通信大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

學識經驗アル者ノ中ヨリ命ゼラレタル海運總局參與ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ海運總局參與ハ勅任官ノ待遇トス但シ本官ヲ有スル者ニ付テハ本官ノ受クル待遇ニ依ル

第十一條 運輸通信省ニ航空ニ關スル特別ノ事項ヲ調査セシムル爲航空局委員ヲ置クコトヲ得

航空局委員ハ運輸通信大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第十二條 運輸通信大臣ハ施設ノ建設、改良又ハ保存ニ關スル事務ヲ取扱ハシムル爲必要アリト認ムルトキハ地方官署ヲ置クコトヲ得

第十三條 海運總局ニ横濱出張所ヲ置キ航路標識用品ノ試験、製造、修繕、調達及配給ニ關スル事項ヲ掌ラシム
横濱出張所長ハ理事官又ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第十四條 航空局ニ航空試験所ヲ置キ航空機、航空機用器材及航空用設備ノ検査及試験ニ關スル事務ヲ掌ラシム
運輸通信大臣ハ必要ト認ムル地ニ航空試験所ノ出張所ヲ設ケ航空試験所ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得
運輸通信大臣ハ必要ト認ムル地ニ航空局ノ支局ヲ置キ航空機ノ運航ノ監督、航空保安施設ノ運用及飛行場ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

航空試験所長、航空試験所出張所長及航空局支局長ハ航空官ヲ以テ之ニ充ツ

第十五條 地方ニ左ノ九鐵道局ヲ置ク

- 東京鐵道局
- 名古屋鐵道局
- 大阪鐵道局
- 廣島鐵道局

- 門司鐵道局
- 新潟鐵道局
- 仙臺鐵道局
- 札幌鐵道局
- 樺太鐵道局

鐵道局ノ位置及管轄區域ハ運輸通信大臣之ヲ定ム

第十六條 鐵道局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 國有鐵道ノ現業事務、國有鐵道ニ關聯スル國營自動車及國營船舶ノ現業事務並ニ其ノ附帶事業ノ現業事務ニ關スル事項
- 二 運輸通信大臣ノ指定スル施設ノ建設又ハ改良ニ關スル事項
- 三 地方鐵道、軌道、自動車交通事業、小運送業其ノ他ノ陸運ノ業務ノ監督ニ關スル事項

第十七條 倉庫營業（臨港倉庫ニ係ルモノヲ除ク）ノ監督ニ關スル事項

運輸通信大臣ハ鐵道局ノ事務ヲ取扱ハシムル爲地方官署ヲ置

クコトヲ得

第十八條 運輸通信省ニ鐵道監專任二十六人ヲ置ク

鐵道監ハ勅任トス上官ノ命ヲ承ケ陸運、國有鐵道ニ關聯スル國營船舶及倉庫營業（臨港倉庫ニ係ルモノヲ除ク）ニ關スル職務ヲ掌理ス

第十九條 鐵道總局ノ各局長、自動車局長及自動車局ノ各部長ハ鐵道監ノ中ヨリ之ヲ補ス

第二十條 各鐵道局ニ局長一人ヲ置キ鐵道監（樺太鐵道局ニ在リテハ鐵道官）ノ中ヨリ之ヲ補ス運輸通信大臣ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

第二十一條 運輸通信省ニ航空局監理部長及航空局乘員部長ヲ置ク各部長ハ勅任トス

第二十二條 運輸通信書記官ハ專任二十一人ヲ以テ定員トス

第二十三條 運輸通信省ニ事務官專任十七人及理事官專任六人ヲ置ク事務官及理事官ハ勅任トス上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第二十四條 運輸通信省ニ鐵道官專任千九十九人ヲ置ク

鐵道官ハ勅任トス上官ノ命ヲ承ケ陸運、國有鐵道ニ關聯スル國營船舶及倉庫營業（臨港倉庫ニ係ルモノヲ除ク）ニ關スル職務ヲ掌ル

鐵道官ニシテ文官任用令第五條ノ規定ニ依リ任用スル者以外ノモノノ員數ハ鐵道官ノ定員ノ十分ノ九ヲ超ユルコトヲ得ズ

第二十五條 運輸通信省ニ海務官專任五人ヲ置ク海務官ハ勅任トス上官ノ命ヲ承ケ海運、造船又ハ船員ノ教育、養成若

ハ勞務管理ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十六條 運輸通信省ニ航空官專任三十八人ヲ置ク航空官ハ勅任トス但シ内一人ヲ勅任ト爲スコトヲ得

航空官ハ上官ノ命ヲ承ケ航空ニ關スル技術又ハ事務ヲ掌ル

第二十七條 運輸通信省ニ調査官專任二人ヲ置ク調査官ハ勅任トス上官ノ命ヲ承ケ調査ヲ掌ル

第二十八條 運輸通信省ニ技師專任十三人ヲ置ク

技師ハ奏任トス但シ内一人ヲ勅任ト爲スコトヲ得
技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第二十九條 運輸通信省ニ標識技師專任三人ヲ置ク

標識技師ハ奏任トス上官ノ命ヲ承ケ航路標識ノ保守及運用竝ニ航路標

識附屬ノ設備ニ依ル氣象觀測ヲ掌ル

第三十條 運輸通信省ハ專任二百二十九人ヲ以テ定員トス

第三十一條 運輸通信省ニ鐵道官補專任四萬二千二百三十九人ヲ置ク

鐵道官補ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ陸運、國有鐵道ニ關聯スル國營

船舶及倉庫營業（臨港倉庫ニ係ルモノヲ除ク）ニ關スル職務ニ從事ス

第三十二條 運輸通信省ニ技師專任百六人ヲ置ク

技師ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第三十三條 運輸通信省ニ標識技師專任五百人ヲ置ク

標識技師ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ航路標識ノ保守及運用竝ニ航路

標識附屬ノ設備ニ依ル氣象觀測ニ從事ス

第一項ニ規定スルモノノ外運輸通信大臣必妥アリト認ムルトキハ標識
技師俸給豫算定額内ニ於テ豫備員トシテ標識技師二十人以内ヲ置クコ
トヲ得

前項ノ標識技師ハ海運總局ノ事務ニ臨時從事セシムルコトヲ得

第三十四條 運輸通信省ニ鐵道手ヲ置ク其ノ定員ハ運輸通信大臣之ヲ定

ム

鐵道手ハ判任官ノ待遇トス上官ノ指揮ヲ承ケ陸運、國有鐵道ニ關聯ス

ル國營船舶及倉庫營業（臨港倉庫ニ係ルモノヲ除ク）ニ關スル職務ニ

從事ス

第三十五條 第十八條乃至前條ノ職員ノ外海運總局又ハ航空局ノ事務ヲ

掌ラシムル爲運輸通信大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣

ニ於テ海運總局事務官又ハ航空局事務官ヲ命ズルコトヲ得

第三十六條 航路標識ノ種別、名稱及位置ハ運輸通信大臣之ヲ定ム

第三十七條 海運總局長官ハ船員ノ教育及養成ニシテ海軍豫備員候補者

トシテ必要ナル事項竝ニ船舶保護法ノ施行ニ關スル事項ニ關シテ海軍大臣ノ指揮監督ヲ承ク
第三十八條 航空局長ハ航空機職員及航空ニ伴フ施設ニ關スル事項中軍ニ關係アルモノニ關シテハ陸軍大臣及海軍大臣ノ指揮監督ヲ承ク
第三十九條 運輸通信大臣ハ航空ニ關スル事務ニ關シ必要ニ應ジ陸軍大臣又ハ海軍大臣ニ對シ其ノ管理ニ屬スル人馬、艦船、航空機、器材等ノ使用ヲ請求スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
遞信省官制、海務院官制、航空局官制及鐵道省官制ハ之ヲ廢止ス
本令施行ノ際現ニ海務院、航空局又ハ鐵道省ノ職員ノ職ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ鐵道監ハ鐵道監ニ、海務院書記官及航空局書記官ハ運輸通信書記官ニ、鐵道官ハ鐵道官ニ、海務院海務官ハ運輸通信省海務官ニ、航空局航空官ハ運輸通信省航空官ニ、海務院事務官及航空局

事務官ハ運輸通信理事官ニ、海務院技師及航空局技師ハ運輸通信技師ニ、海務院標識技師ハ運輸通信省標識技師ニ、海務院屬及航空局屬ハ運輸通信屬ニ、鐵道官補ハ鐵道官補ニ、海務院技師及航空局技師ハ運輸通信技師ニ、海務院標識技師ハ運輸通信省標識技師ニ、同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス
本令施行ノ際現ニ鐵道省鐵道手タル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ運輸通信省鐵道手ニ任ゼラレタルモノトス
本令施行ノ際現ニ海務院、航空局又ハ鐵道省ノ職員ニシテ休職中ノモノ別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ休職ノ儘第三項ノ例ニ依リ運輸通信省職員ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

參照

○ 逓信省官制 明治三十一年
勅令第二百九十五號

第一條 逓信大臣ハ郵便、電氣通信、郵便及電氣通信ノ附帶業務並ニ電氣及

發電水力ニ關スル事務ヲ管理ス

逓信大臣ハ、國際電氣通信株式會社ニ關スル事項ヲ管理ス

第一條ノ二 大臣官房ニ於テハ規則ニ定ムルモノノ外逓信博物館、所管行政

ノ考査一般、郵便及電氣通信ノ檢査並ニ電波ノ監視ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 逓信省專任書記官ハ十九人ヲ以テ定ムトス

第三條 逓信省ニ左ノ局ヲ置ク

總務局

郵務局

電務局

工務局

電氣局

第三條ノ二 總務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 逓信事務ニ關スル綜合計畫ノ擬定其ノ他重要逓信政策ノ綜合調整ニ關スル事項

二 本省所管ノ總計及諸收入ノ核算、決算並ニ會計ニ關スル事項

三 會計ノ整理ニ關スル事項

四 本省所管ノ國有財産及物品ニ關スル事項

五 電氣逓信用品ノ製造及修繕ノ作業ニ關スル事項

第四條 郵務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 郵便ニ關スル事項

二 從業員ノ勤務條件、保護及養成ニ關スル事項

第四條ノ二 郵務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 電氣逓信ニ關スル事項

二 國際電氣逓信株式會社ニ關スル事項

第五條 工務局ニ於テハ電氣逓信施設ノ建設及保存ノ工事は關スル事務ヲ掌ル

第六條 電氣局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 電力管理法ニ依ル電力ノ管理ニ關スル事項

二 電氣ニ關スル事業監督、取締及檢定ニ關スル事項

三 發電水力ニ關スル事項

第六條ノ二 逓信省ニ電氣局參與十五人以内ヲ置キ局務ニ參與セシム

電氣局參與ハ逓信大臣ノ奏請ニ依リ關係各職勅任官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

學識經驗アル者ノ中ヨリ命セラレタル電氣局參與ノ任期ハ三年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ

電氣局參與ハ勅任官ノ待遇トス但シ本官ヲ有スル者ニ付テハ本官ノ受クル待遇ニ依ル

第六條ノ三 逓信省ニ專任電氣技監一人ヲ置ク勅任トス

電氣技監ハ電氣局ニ屬シ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌理ス

第六條ノ四 逓信省ニ專任逓信監察官一人ヲ置ク委任トス

逓信監察官ハ大臣官房ニ屬シ逓信監察ノ事務ヲ掌ル

第七條 逓信省ニ逓信省事務官專任四十四人ヲ置ク
逓信省事務官ハ奏任トス上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第七條ノ二 逓信省ニ逓信省検閲官專任十人ヲ置ク
逓信省検閲官ハ奏任トス上官ノ命ヲ承ケ郵便若ハ電氣通信ノ檢閲又ハ電波ノ

監視ニ關スルコトヲ掌ル
第七條ノ三 逓信省ニ逓信官吏講習所設官專任三十二人ヲ置ク十九人奏任十三人判任トス

逓信官吏講習所設官ハ上官ノ命ヲ承ケ養成ヲ掌ル
第八條 逓信省ニ逓信技師專任百十六人ヲ置ク
逓信技師ハ奏任トス但シ内六人ヲ勅任ト爲スコトヲ得

逓信技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル
第九條 逓信省ハ專任四百七十一人ヲ以テ定員トス
第九條ノ二 逓信省ニ逓信省檢閲官專任五十三人ヲ置ク
逓信省檢閲官ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ郵便若ハ電氣通信ノ檢閲又ハ電

波ノ監視ニ關スルコトニ從事ス
第十條 逓信省ニ逓信技師專任三百三十一人ヲ置ク
逓信技師ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス
第十條ノ二 逓信省ニ逓信手ヲ置ク
逓信手ハ判任官ノ待遇トス上官ノ指揮ヲ承ケ事務又ハ技術ニ從事ス
前二項ニ規定スルモノノ外逓信手ニ置スル者ハ逓信大臣之ヲ定ム
第十條ノ三 逓信省ニ逓信官吏講習所 國中逓信官吏又ハ逓信官吏タルベキ者ノ養成ヲ掌ラシム
逓信官吏講習所ハ逓信省記官ヲ以テ之ニ充ツ
第十條ノ四 逓信省ハ必數ト認ムル電氣通信建設事務所ヲ設ケ電氣通信ノ施設ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得
電氣通信建設事務所ハ逓信省事務官ヲ以テ之ニ充ツ
第十條ノ五 逓信省ニ海底電工事務所ヲ置キ海底電ノ施設又ハ保守工等ヲ掌ラシム

海防工部事務所長ハ海防役ヲ以テ之ニ充ツ

参照

○海務院官制 昭和十四年六月
勅令第千四百四十四號

第一條 海務院ハ逓信大臣ノ管理ニ屬シ水運、船舶、造船、船員其ノ他海事ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 海務院ニ長官官房及左ノ五部ヲ置ク

總務部

運輸部

船舶部

船員部

航路部

長官官房ニ於テハ人事、文書及會計ニ關スル事務政ニ他ノ主管ニ屬セザル事務ヲ掌ル

總務部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 海事ニ關スル綜合計畫ノ設定其ノ他重要海事政策ノ綜合調整ニ關スル事項

- 二 外地海軍行政トノ連絡ニ關スル事項
- 三 水運事業ノ監督及助成ニ關スル事項
- 四 船舶ノ保護ニ關スル事項
- 五 海軍情報、海軍調査及海軍思想普及ニ關スル事項
- 運航部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 船舶ノ管理ニ關スル事項
 - 二 水上運搬ニ關スル事項
 - 三 港湾運送架ノ監督及助成ニ關スル事項
 - 四 運航用資材ニ關スル事項
 - 五 木船保險ニ關スル事項
- 船舶部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 造船ニ關スル事業ノ監督及助成ニ關スル事項
 - 二 造船及船舶修繕ニ關スル事項
 - 三 船舶ノ積量測定、検査及登録ニ關スル事項

- 四 船舶用資材、機裝品其ノ他船舶用品ニ關スル事項
- 船員部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 船員ノ使用ニ關スル事項
 - 二 船員ノ監督及保護ニ關スル事項
 - 三 船員ノ教育及養成ニ關スル事項
 - 四 船員ノ指導及訓練ニ關スル事項
- 航路部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 港務、水路、水先、航法及海難ニ關スル事項
 - 二 燈臺其ノ他ノ航路標識ニ關スル事項
 - 三 航路標識附屬ノ設備ニ依ル氣象觀測ニ關スル事項
 - 航路部ニ備出所長ヲ置キ航路標識用品ノ試験、製造、修繕、調達及配給ニ關スル事項ヲ掌ラシム
- 備出所長ハ事務官又ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 海務院ニ左ノ職員ヲ置ク
 長官 勅任

次長	一人	勅任
部長	五人	勅任
書記官	專任八人	奏任
事務官	專任十八人	奏任
海務官	專任三人	奏任
技師	專任十三人	奏任
操縦技師	專任三人	奏任
脇	專任七十三人	判任
技手	專任十八人	判任
操縦技手	專任五百人	判任

部長ノ内一人ハ次長ヲシテ之ヲ兼オシムルモノトス
 第一項ニ規定スルモノノ外通信大臣必要ト認ムルトキハ操縦技手俸給豫算
 定額内ニ於テ操縦員トシテ操縦技手二十人以内ヲ置クコトヲ得
 第四條 前條ノ職員ノ外通信大臣ノ奏請ニ依リ關係各職高等官ノ中ヨリ内閣
 ニ於テ事務官ヲ命ズルコトヲ得



通信院官制

參照添付

昭和十八年十月二十日 法律
 昭和十八年十一月一日 公布
 勅令第八百三十一號